

# 文月 愛南文芸

## 城辺俳句会

さ緑に萌ゆる山々椎の花  
 半眼の繋がれし犬温く温くと  
 山の藤指さし賞める岬山  
 四方の山色動きたる阜月かな  
 故里や枇杷も熟する一里塚  
 幾重にも山を連ねて椎若葉  
 春の雨五臓蘇生の日曜日  
 大荷物かかえ帰る子囀れり

山田 静恵  
 出口 恵子  
 宮田志賀子  
 大浜 紀子  
 松本 種夫  
 大和田いそ子  
 加納 幸子  
 増本 薫

## 内海俳句会

白靴に晩学の夢締め直す  
 皮脱ぎし竹壮齢に一人立ち  
 追想の俳偲ぶ夏至白夜  
 静寂なる刻之銀河の瀬音聴く

太田 信子  
 岩森十志子

## 城辺川柳会

「涙」  
 悔し涙夢を叶えるバネにする

能子

## はじめまして。赤ちゃん。

5月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

## ご冥福をお祈りします。

5月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

負けて涙勝って涙の野球戦  
 心からありがとうねと言う涙  
 涙腺をしっかりとしめて老いに勝つ  
 思い出の涙はきれいな星の屑  
 涙腺を乱す玉葱でも可愛い  
 出る涙に心の中が顔を出す  
 死ぬ程の過去の涙は美化される  
 出征は戦死の誉れ涙無く  
 故里のほのかな香り涙拭く  
 喜びの涙のあとは美しい  
 感激の涙につられ貫い泣き  
 涙ぐましい努力なしでは克てぬ自己

栄華  
 トクエ  
 あき子  
 玉子  
 典方  
 撫子  
 百代  
 拡  
 佐賀  
 律子  
 暁  
 一会

## 新しくの葉短歌会(なずな)

誕生日今日のおよき日の真つ青な空仰ぎつつ「いざ生きめやも」  
 旬のもの次々採れる山に住む幸おもいつつ卒寿となりぬ  
 朝餉終へ溝掃除に今朝出でてゆくこの子になべて出役を頼る  
 久びさに一人になりし昼下がりに温き縁側に新聞ひろげぬ  
 吾が訪ひし日には赤丸つけられて妣ははの小さな手帳の残る  
 惜しげなく切りて貫いし一枝の紅き牡丹が厨に香る

吉田 信保  
 藤森多摩子  
 松比良スミ子  
 高橋千代子  
 宮下喜久子  
 河上 明美



※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。